



みなみ野小中学校区 地域づくり準備会

令和3年(2021年)11月20日(土)

八王子市 未来デザイン室



1 本日のプログラム

会場
みなみ野小学校1階 特別活動(多目的)室

(1) 開会

- ・ あいさつ

(2) 地域づくり推進事業について

(3) オリエンテーション

- ・ 自己紹介

----- 休憩 (5分) -----

(4) 中学校区別ワークショップ(第2回)の検討結果を振り返ろう

- ・ 資料2「中学校区別ワークショップ第2回検討結果」参照

(5) 参加者の「活動内容」、「課題」を共有しよう

- ・ 「活動内容」、「活動の課題」を付箋に書き出す。
※それぞれ1つのことに対して、1枚の付箋に記入。
- ・ 付箋の内容を発表

(6) 閉会

- ・ 次回の案内

【配付資料】

資料1:長房中学校区の地域カルテ(案)

資料2:中学校区別ワークショップ第2回検討結果

資料3:地域づくり推進会議参加確認書の提出について(依頼)

参 考:みなみ野小中学校区における中学校区別ワークショップの
アンケート結果について

参 考:令和3年度(2021年度)みなみ野小中学校区の
実施スケジュール(案)

2 地域づくり推進事業について

(1) 地域づくり推進基本方針

本市では、中学校区を基礎単位に地域が主体的に魅力向上や課題解決などを目指し、協働していくしくみを構築する「地域づくり」を推進するため、その基本的な考え方や取組の方法などを示す「八王子市地域づくり推進基本方針(以下「基本方針」という。)」を令和2年(2020年)3月に策定しました。

基本方針では、以下の3つの基本的な考え方をもとに取り組んでいくとしています。

考え方	内容
ア 地域づくり推進に向けた体制づくり	地域づくりの推進に向けて、町会・自治会をはじめとする活動団体や市民などとともに地域の現状などを把握し、地域課題を解決する手法などを検討する「地域づくり推進会議(以下、「推進会議」という。)」を立ち上げます。
イ 地域課題の解決に向けた計画づくり	推進会議では、地域情報の共有や推進会議の運営方法等について意見交換を行うほか、地域資源などを整理した「地域カルテ」の作成、地域のありたい姿の実現に向けた「地域別推進計画」を策定します。
ウ 多様な市民が参画するしくみづくり	「地域別推進計画」の策定に向けた検討を進めるにあたり、地域住民や活動団体などの意見を多く取り入れるため、地域情報やアイデアを共有する「ワークショップ」や、検討した内容を発信する「地域フォーラム」などを開催し、地域づくりの気運醸成を図ります。

(2) 地域づくりが目指す姿

近年、人口減少や少子高齢化の進行に伴う人口構造の変化、ライフスタイルの変化などに伴い、地域課題は多様化、複合化しています。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症等への対応が急務となる中、ICTの進展など、市政運営においても転換期を迎えています。

地域づくりは、人と人をつなぎ、地域が抱える課題の解決を目指す取組や歴史・文化などの資源を活用した地域の魅力向上などを主体的に活動することができるしくみづくりです。

今後、その地域における合意形成を図る会議体として推進会議を設置していきます。この取組は、地域と本市行政がより力強く連携し、地域の皆様が「住みやすい」「住み続けたい」と感じられる地域を目指すためのものです。

(3) 地域づくりのイメージ図

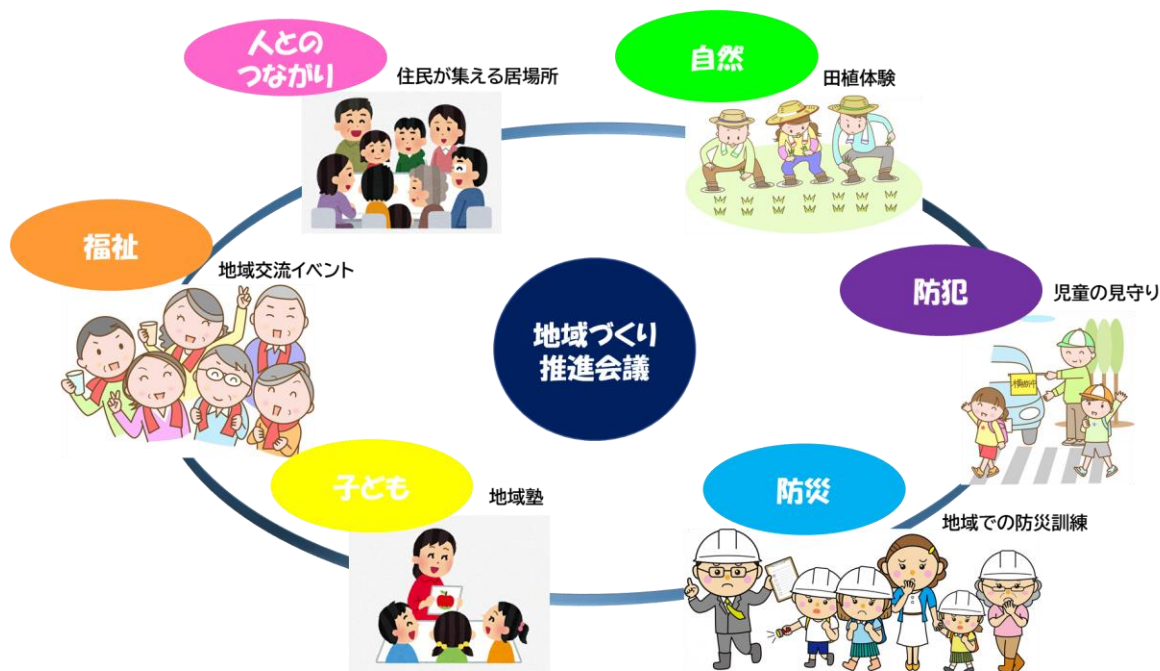
八王子版 地域包括ケアシステムの目指す姿



松本市 地域づくりに大切な視点



地域づくりの理想図



地域において顕在化してきた主な課題

- | | | |
|-----------|------------------|--------------|
| 「ひきこもり」 | 「子どもの居場所」 | 「空き家対策」 |
| 「孤独」 | 「買い物弱者」 | 「地域活動の担い手不足」 |
| 「老々介護」 | 「災害時の避難場所」 | 「耕作放棄地」 |
| 「ヤングケアラー」 | 「住民同士でのつながりの希薄化」 | 「歴史・文化の継承」 |
- 等

(4) 推進会議の概要

項目	内容
目的	活動団体のネットワーク化 新たな担い手の創出 行政との更なる協働の推進 地域活性化
役割	情報共有、意見交換 地域課題の解決に向けた検討 地域の魅力発信
構成員	地域住民及び地域内で活動する団体や個人
参加者	構成員の代表者16名程度(地域の実情に合わせて決定)

(5) 参加者以外の参画

地域づくりを推進するにあたっては、様々な分野、多世代、地域団体との関わりは重要となるため、準備会及び推進会議においては、以下の方などに参画いただきます。

参画者	役割
高齢者あんしん 相談センター	オブザーバーとして参加 これまでの地域活動における課題解決などに向けた提案や連携による課題解決手法を市職員と共に参加し、検討していきます。
社会福祉協議会	

(6) 地域づくり推進事業における庁内体制

地域づくりを推進するにあたっては、地域が主体的に活動していくことができるしくみとともに、庁内における分野横断的な推進体制の構築に向けて検討を行っていきます。

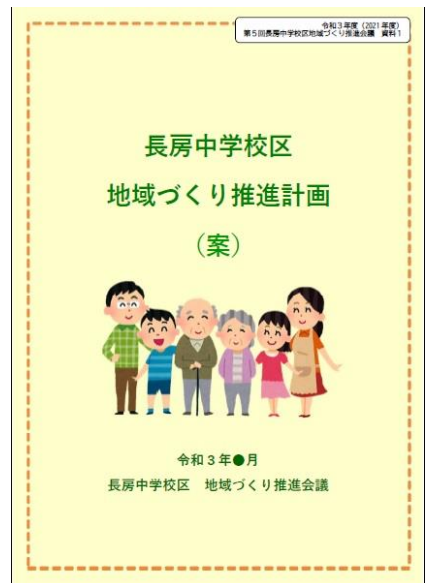
(7) モデル地区の検討状況

広大な市域をもつ本市においては、歴史・産業・人口構造など、地域ごとに様々な特性を有しており、地域の魅力や課題なども一様ではありません。また、地域づくりを推進するにあたっては、その様々な特性や状況などを踏まえた手法を検討する必要があります。

現在、長房・川口中学校区をモデルとし、地域が主体的に活動していくことができるしくみを構築しています。具体的な取組としては、地域情報の共有や推進会議の運営方法等に対する意見交換を行うほか、地域資源などを紹介する「地域カルテ」の作成、地域のありたい姿の実現に向けた「地域別推進計画」の策定を行っています。



地域カルテ(案)



地域別推進計画(案)

(8) 今後の流れ



3 メンバー紹介

五十音順

氏名	所属及び役職等
荒井 嘉夫	みなみ野小中学校 学校運営協議会 会長
大倉 弘美	青少年対策みなみ野地区委員会 会計
大福 族生	八王子共生社会推進会議 理事長
大淵 くみ子	みなみ野小学校地区放課後子ども教室 会長
大山 力男	由井西部地域住民協議会 理事
川崎 ミチ子	みなみ野健康推進の会 代表
糠信 富雄	由井地区町会自治会連合会 副会長
野牧 宏治	フューチャーセンター虹の会 会長
橋山 晃子	第16地区 民生委員・児童委員
平野 吉三	八王子国際協会 前理事長
山城 江美子	高齢者福祉審議会 委員

庁内プロジェクトチーム

守屋 広子
打越 聡
鎌田 哲弥
段野 文彰

事務局

未来デザイン室 地域づくり担当

準備会でのお約束

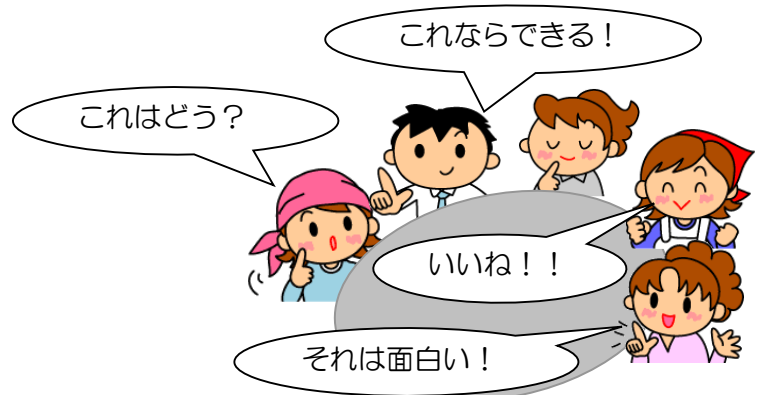
その1：みんなの発言に耳を傾けましょう。
(聞き上手になる)

その2：小さな気づきも発言しましょう。
(話し上手になる、でも一人で話しすぎない)

その3：自分とは異なる意見を尊重しましょう。
(意見を批判しない)

その4：肩書きをはずして話し合いましょう。
(立場にこだわらない)

その5：みんなで意見や考えを共有しましょう。
(結論を無理に出さない)



MEMO